

第4回中原区区民会議運営部会会議録

1 開催日時 平成25年7月10日(水) 午前10時～午前11時45分

2 開催場所 中原区役所5階503会議室

3 出席者

委員 川連部会長、富岡副部会長、板倉委員、稲富委員、反町委員、成田委員、藤嶋委員
事務局 小野副区長、今井企画課長、江口担当係長、倉見担当係長、深谷職員、大崎職員、
野並職員、諏佐こども支援室長、高岡担当課長、服部担当課長
社会空間研究所 中島さん、栗林さん

4 議題

(1) 会議録確認委員の選任(公開)

(2) 第5回中原区区民会議の運営について

ア 課題調査部会の審議結果について(公開)

イ 3つ目の審議テーマについて(公開)

(3) 第4期中原区区民会議の開催スケジュールについて(公開)

5 傍聴者 なし

6 会議内容

(1) 会議録確認委員の選任

成田委員を選任した。

(2) ア 課題調査部会の審議結果について

板倉委員 資料1-1、資料1-2、資料2に基づき、第3回及び第4回課題調査部会の審議内容について説明。

成田委員 中原区は、新しく住まわれる方の転入が多い。まず、安心して出産できること、次に、周囲の子育て環境にうまく溶け込めるよう地域に出ていくまでのステップを用意すること、これが大事だと実感している。祖父母がいない中で子育てする方が多い。区役所に来る機会を捉えて、地域にうまくつなげるように関わる必要がある。具体的な取組として、子育てカフェが出ていた。

反町委員 子育てカフェについて、具体的な実践方法を考えている。前回のカフェは初めてのことで、まずやってみることが大切だった。今後は、年に1回では意味がないのだが、人と予算に限られる。手間を最小限にして、簡易な形で定期的開催できるような企画を考えていきたい。

川連部会長 課題調査部会でご議論いただいた結果が資料として出ているが、稲富委員、いかがでしょうか。

稲富委員 外国籍の方は企業にも増えてきている。文化や考え方、言葉などで壁があるので、考えていかなければいけない。それから、外に出にくい人をどうやって引き出せるか。さらに、資料にもあるが、子育てについての情報はたくさんある。口コミで伝わらない人への情報提供をどうするか。ホームページについては、一定期間のキャンペーンであっても、子育て情報を目立つように前面に出すことが必要だろう。

川連部会長 大学生を対象とした取組もあるが、大学生はインターネットに意識が行くだろう

が、高齢者はホームページはなかなか見ない。やはり紙媒体も必要である。

藤嶋委員 知り合いの留学生が出産する時に相談を受けたが、同じ国の仲間にもらった情報が役立ったようだ。両親学級は、中原区で行っているのか。

事務局 第1子を出産されるご両親を対象に、区が行っている。3回で1コースとなっており、60～70組が参加している。他に、働いている親を対象とした講座も土曜日に開催している。看護協会でもプレパパ・プレママ講座を行っており、様々な機会が必要であると感じている。

藤嶋委員 両親学級の取組は良いが、どちらかしかいない場合もあるので、その辺も考慮できるとよい。

富岡副会長 民生委員などによって子育てサロンが運営されているが、表に出にくい人への支援が課題となっている。チラシなどで広報しているが不十分。今は、核家族で祖父母がおらず、両親だけで育てている人も多く、大変である。様々な角度で支援することが大事。今までの制度の中で、方法を詰めて検討していけば良くなると思う。

反町委員 今回の取組では、子育てカフェで力を発揮したいと考えている。開催しながら、様々な意見を採り入れて反映させて修正していけると思うので、企画の形でまとめたい。

藤嶋委員 大学生の活用という点で、うつなど外に出られない人もいるので、医科学的な大学の人にもお願いしたい。

板倉委員 子育ての対象として、子どもは18歳までという話があるが、今回は乳幼児を対象とした取組を中心にまとめている。

川連部会長 タワーマンションでの取組は。

成田委員 マンション内でパパママパークという取組がある。1回20組ほど来ている。土曜日には父親が参加できる催しがあり、そこから父親同士の交流が生まれている。父親参加型のサロンがあってもいい、と感じる。それから、外に出てこられない人については、子育てサロンに出てもらって、交流のきっかけになることもあるが、子ども同士を比較して、自分の子どもの発達を必要以上に心配してしまう結果になることもあり、難しい。専門家につなげることができればよいが。

稲富委員 道徳やしつけは、以前は親よりも周囲から学んでいた。今はそういうものがない。父子手帳などで父親に役割を与えるということも面白いと思った。ボーイスカウトなども必要な場かもしれない。

藤嶋委員 ロコミが一番効果があると思うが、なかなか会話できない。3か月までの子どもの親に対して、保健所が直接行って悩みなどを話す機会があったと思うが。

事務局 区役所保健師等による新生児訪問や、民生委員等による赤ちゃん訪問を行っており、直接家庭に行って相談を受けたり、地域の情報を提供している。基本的には1回の訪問なので、次の機会は3か月健診になる。

富岡副会長 小中学生は、放課後ほとんど塾などに行っていて街中にいない。サロン以外の取組としては、子ども会を町会で応援している。仲間意識や親子の関係を作れるという意味で、とてもいい組織だと思う。野球大会やドッチボールなど盛んにやっている。子どもの問題は、情操教育、教養をしっかり教えていけば減ってくると思うが、

学校は忙しくて手いっぱいになっている。地域とのつながりは必要最低限という感じで、文化祭などの行事のつながり程度。

反町委員 中原区にとっての重要なキーワードは「コミュニティ」や「交流」であり、これはとても大事だと実感している。子ども会は、以前は盛んだったが、最近はあまり聞かなくなってきた。とてもいいものだと思うが、他にも縮小しているコミュニティがあり、必要だと言われているのになぜ減っているのか。既存のコミュニティを育てるのか、新しいものを作るのがいいのか、意見を聞いて今後のいろいろなアイデアに生かしていければ、と思う。

藤嶋委員 子ども会は、役員になることがネックで避ける親がいる。

成田委員 子どもに地域交流や奉仕活動の経験はさせたいが、親が働いていて、土日は休みたい、という事情もあるようだ。最近の課題として、子どもの遊び場がない、という声がある。公園はボール遊びができず、声がうるさいという苦情もある。わくわくプラザやこども文化センターに大勢流れて、手いっぱいの状態。親の方も、子どもだけで公園で遊ばせるのが不安で、預かってくれる所に行かせるという面もある。

川連部会長 時代が変わった、と感じる。親の意識も以前とは違う。

富岡副会長 ホームページは、興味を持つような中身にできるとよい。

成田委員 文字だけだとイメージがわからない部分もある。

反町委員 区のホームページと分けて、デザイン性を高めて作った方がいいのでは。実際は検索サイトから直接来ることが多いので、子育て世代が気にしているキーワードをホームページに入れる。さらに伝えたい情報に行きやすいようにすることが必要。

成田委員 他都市のホームページと比べても、色彩がきれいで見た感じは良いと思う。子育て情報のキャラクターとしてミミケロは良いのだが、知らない人にはわからないかも知れない。

事務局 昨年10月に市のホームページを一斉にリニューアルした。見やすくなったが、作成上の制約もあるので、区としてどのように工夫できるか考えていきたい。

藤嶋委員 子育てカフェの回数を増やすのが取り組みやすい。1回1回を大げさにしないで。

反町委員 具体的な企画を提案したいと思っている。実施時期として1月から3月だと屋外は寒いので、屋内開催はできないか。

事務局 室内だと飲食の制限等がある。時期的な問題であれば、今年度はカフェの企画を検討することとして、カフェの開催は来年度とする方が良いか。

藤嶋委員 やはり区民会議の取組として年度内に開催する方が良い。

事務局 そういうことであれば、今年度の取組として予定しておいて、実施状況を見ながら、来年度以降も開催するかどうか検討していくこととしてはどうか。

反町委員 今年度に開催するのであれば、年度末で大変かもしれないが、3月のできるだけ遅い時期にすれば、ある程度暖かくなっているだろう。

川連部会長 本日の各委員の意見も踏まえて、次回区民会議で取組事項を決定していきたいがよいか。

(一同了承)

イ 3つ目の審議テーマについて

事務局 資料3の説明

板倉委員 3つ目のテーマとして、資料の3でまとめたテーマだが、これでよいと思う。

稲富委員 以前、「なんでも鑑定団」を呼んだらどうか、と言ったが、中原は歴史のある街であり、見つめ直す意義があると思う。文化、伝統、歴史を考えるきっかけになるのでは。

反町委員 個人的に、興味のあるテーマである。改めてテーマとして取り上げるのは面白い。

成田委員 区制40周年もあったが、昔からの伝統文化を次世代に伝えていき、また、新しく住まれた住民に定着していただくためにも、まちの魅力を発掘していきたい。

藤嶋委員 テーマとしては大きすぎるのでは、という気がする。以前から住んでいる人も知らないことが多い。大事なことだが、区民会議でどのように扱うか。住民同士の交流の場になれば、素晴らしいと思うが。

富岡副会長 住民の交流が大事である。区制40周年でやったことの再確認という意味もあり、さらに再発見というところまでいければ、と思う。掘り下げていきたい。

川連部会長 非常に大きなテーマであるが、区内でも伝統文化を守って活動している人も大勢いると思う。そういう方々の力も借りていきたい。

藤嶋委員 文化協会で会報を年に3回出している。歴史なども取り上げているので、参考にしてもらいたい。

川連部会長 ぜひ参考にさせていただきたい。中原の歴史と言ってすぐ思いつくのは、中原街道などがあるが、他にもいろいろあると思う。

藤嶋委員 井田の方に古墳がある。

板倉委員 テーマとしては大きくとらえておいて、議論で狭めていくという考え方でいけばよいのでは。

藤嶋委員 歴史などを見せるスライドなど作れるとよい。

川連部会長 運営部会としては、「文化、伝統、歴史など中原区の魅力発信と活力向上」を3つ目の審議テーマの候補として、よいか。

(一同了承)

(3) 第4期中原区区民会議の開催スケジュールについて

事務局から資料4に基づき、第4期中原区区民会議スケジュール案について説明。了承される。

以上